

九州デジタル推進ワーキンググループ 第二回会合 議事概要

■日 時 令和5年2月10日（金）13:20～17:20

■場 所 （オフライン）熊本地方合同庁舎 A 棟1階会議室
（オンライン）Zoom

■参加者 45団体、129名（会場：46名、オンライン：83名）

=====《議事内容》=====

1. デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会
2. デジタル関連取り組み事例紹介
3. 各省庁デジタル関連施策説明
4. 各自治体からのデジタル関連取り組み事例説明
5. 特別講演
6. 九州総合通信局 局長挨拶

=====

1. デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会

（1）デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会説明

※九州総合通信局より、説明がなされた。

（2）改正電気通信事業法「ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度」について説明

※総務省総合通信基盤局電気通信事業部事業政策課 柳迫泰宏 調査官より説明がなされた。

2. デジタル関連取り組み事例紹介

下記の紹介がなされた。

（1）西日本電信電話（株）

：ローカル5G を活用したスマート畜産への取り組み

（2）KDDI エンジニアリング（株）

：ローカル5G 簡易設置キットを活用した屋内スポーツにおける高精細・多視点の映像サービスモデル構築に向けた実証

（3）九州電力（株）

：地方公共団体と連携したローカル5G の活用による火力発電所のスマート保安の実現

3. 各省庁デジタル関連施策説明

下記の省庁より、説明がなされた。

＜説明機関＞（※下線：説明あり）

経済産業省 九州経済産業局、総務省 九州総合通信局

4. 各自治体からのデジタル関連取り組み事例説明

下記の説明資料の提供がなされた。

＜説明・紹介資料提供自治体＞（※下線：説明あり）

長崎県、熊本県、福岡市

5. 特別講演

株式会社あわせ 代表取締役 吉田 基晴氏

取締役 執行役員 地方創生推進部 部長 吉田 和史 氏

「日本総過疎時代のトップランナーに

～デジタルで地域内外のチャレンジャーと連携し課題解決～」

6. 九州総合通信局 野崎局長挨拶

本日は関係の皆様に参加いただき感謝したい。九州デジタル推進ワーキンググループは、デジタル田園都市国家構想 インフラ整備計画が始まった時に活動を開始したが、まずは5G とか光ファイバー整備というようなハードをいかに九州の各県、各自治体に展開していくかというハードの議論から始めた。

その上で、当然、ハードに加えて、その利活用、ソフトが重要であるので、今日は、NTT 西日本様、KDDI エンジニアリング様、九州電力様などに取組をご紹介いただいた。また、各省庁の施策では、九州経済産業局様から、各自治体の取組では、長崎県様から5G の基地局整備を支援する素晴らしい取り組み等をご紹介いただき、感謝したい。

ハードやソフトの整備を上手くサイクルで回していくために、最も重要なのは人であって、情熱だと思う。株式会社あわせ様より、サテライトオフィスということでご講演をいただいたが、地方自治体と企業をマッチングして、いかに将来を担う人材を増やしていくかということで勢力的に活躍されていると感じた。デジタル田園都市“国家“であるので、新しい国家を生み出していくためにはハードやソフトを上手く構築していくための情熱が必要と思う。

本日は、尾家先生、KIAI の広岡さんを始め事務局の皆様にご挨拶したい。今後も、デジタル推進ワーキンググループは、九州を将来の可能性と魅力のあふれた場所にすべく、各省庁様、各民間企業等の皆様と協力して、取り組んでいきたいと思うので、今後とも御協力よろしく願いたい。

7. 質疑応答・意見交換

座長の進行により、以下のとおり、質疑応答・意見交換がなされた。

<デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会>

(座長)

ブロードバンドサービスのユニバーサルサービス化は、ユニバーサルサービスを導入する際に懇談会に参加させて頂いた際、議論が白熱した記憶があります。今回、法律が通ったということで、理解が得られて進んでいっていると理解しました。今回、光ファイバーと無線があるが、総務省から見た時に、それぞれの目標を達成するときの困難さについて、どう感じているか。

(総務省)

総務省では、有線と無線の安定性の違いからこれまで超高速ブロードバンドの整備では、光ファイバーを中心に支援してきた。携帯電話が普及しても基地局のエントランス回線としての光ファイバーの役割は重要である。

総務省では、デジタル田園都市国家インフラ整備計画において、2027 年度末までに光ファイバー整備の世帯カバー率 99.9%を目指す目標を掲げている。

他方で、無線技術の進展に伴い、5G が導入され、次の Beyond5G も 2030 年頃を見据えて動き出している中で、無線技術の活用ニーズが高まっている。そのため、光ファイバー整備が現実的に難しいエリアでは、無線の活用も今後の選択肢になり得る。その意味で、今回の情報通信審議会答申では、技術中立性の観点からブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービスの範囲に専用型のワイヤレス固定ブロードバンドを位置付けることが適当とされ、また、固定通信と移動通信共用の携帯電話網を用いて提供するワイヤレス固定ブロードバンドをユニバーサルサービスに位置付けることについては、共用に伴い通信の品質が安定しない課題への対応も含め検討を深めていく必要があることが示された。こうしたワイヤレス固定ブロードバンドが、今後、光ファイバーの補完的な役割を果たしていくこ

とが期待される。

(長崎県)

九州を見てみると公設公営でおこなったところは、単に光ファイバーだけではなく、ケーブルテレビ等と一緒にいったところが多いと思う。そういう意味では、アクセス回線設備とか海底ケーブル等は、ありがたいと思っているが、ケーブルというのも地デジをその地域で維持していくために非常に大事な部分になっているかと思っている。そのようなところは今回は入っていないと思ってよいのか。

(総務省)

ご指摘の点は、公設設備の民設移行に向けた課題であると認識している。

ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度は、電気通信事業法に基づく、ブロードバンドサービス提供事業者による受益者負担制度であるため、この制度で放送設備を支援することは難しい。

そのため、通信部分についての民設移行は、今回のユニバーサルサービス制度によって進展することが期待されるが、ご指摘の放送部分も含めて民設移行したいニーズに対して、どのような支援ができるのか、地域の声に丁寧に耳を傾けながら、検討していきたい。

(座長)

資料の中で、FTTH と CATV とブロードバンドが記入されているが、支援する部分というのは、通信の方であるのか。

(総務省)

ご指摘のとおり、ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度の支援対象は、通信部分のみである。ケーブルテレビ事業者は通信サービスと放送サービスの両方を提供していると思うが、交付金額算定に必要なコストから放送部分を除かざるを得ない。

(鹿児島大学)

公設民営(IRU)の時は、通信事業者(IRU 事業者)は対象外とのことだが、公設公営で市町村が事業者として行っている場合、その市町村も対象外になるのか。

(総務省)

ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度は、民間事業者間の相互扶助の仕組みであるため、情報通信審議会答申では公設公営は支援の対象外となっている。

(鹿児島大学)

民間事業者が入らないところがあるので、公設をやむなく行っているところが九州でもたくさんある。

そうゆうところを対象外にするというのはなぜか。

(総務省)

ブロードバンドサービスに関するユニバーサルサービス制度は、民間事業者間の相互扶助の仕組みであることと、この制度の副次的な目的の一つが公設設備の民設移行であり、この制度によって民間参入が促進されることを期待している。

(鹿児島大学)

市町村の方で、色々困っている現状というのは、総務省のほうでも、別の支援策を検討していただければと思ってよいのか。

(総務省)

地域の声に丁寧に耳を傾けながら、何ができるのか検討していきたい。

<デジタル関連取り組み事例紹介>

○「ローカル5G を活用したスマート畜産への取り組み」について

(九州総合通信局)

高付加価値の畜産と労働力が確保出来なくなってきたというニーズとローカル5G、4K カメラを多数同時接続する等、ニーズとシーズが非常にうまくマッチングした例だと思う。総務省と農水省両方の補助事業で連携していて、(総務省側で20社、農水省側で10社)非常に素晴らしいと思っている。なかなか総務省の補助事業だとICT関係の通信事業者様とかベンダー様は良くご存じですが、農家とか畜産家の方等の現場の方にどうお知らせしていくか、総務省からはなかなかリーチが難しいので、熊本地方合同庁舎の中に九州総合通信局と九州農政局が入っているので、タッグを組んでいければと思っている。

どのようにICT側のシーズと農家や畜産家の課題を結び付けて、今回のような課題解決を行う素晴らしいチームを作ったのか、どのようにしていけば良いか教えていただきたい。

(西日本電信電話(株))

今回の枠組み自体はNTTが代表幹事になっているが、もともと畜産分野で前年度の総務省の事業で、ローカル5Gの実証事業を行った。その流れで、関係者にお声かけしている。また、枠組みを作っていく中で、自治体(鹿屋市)様やJA肝付様にもお声かけしている。また、人が人と呼んでコンソーシアムのメンバーの方や協力者の方など色々な立場の方に入っていていただいてプロジェクトとして進行してうる状況である。

総務省の事業と農水省の事業と毎週定例会を行って行く中で、それぞれの課題をつぶしあう内容になっている。これから先、どうやってシーズを見つけるか、どうやってリーチするかについては、NTTとしては、大規模なお客さまにはリーチが可能であるが、小規模な農家様等にリーチする術が無いので、大規模な事業者様にリーチしながら、その地域で展開する仕組みづくりを行う必要がある。

鹿児島で考えているもので、監視センターみたいなものを作って、そこから、農家さんの牧場や牛舎を見るような仕組みを作り、共同運営センターみたいなものが出来れば、大規模な農家だけではなく、小規模農家にもリーチできる仕組みが出来るのではないかと考えている。そのようなものもビジネスモデルとして、しっかりと検討していきたい。

(九州総合通信局)

例えば、このICT技術で、こういった成功事例があるというようなことを、農協様経由で畜産家の方にパンフレット等を配っていただく等、成功事例等を末端の農家とか畜産家に提供できる仕組みができると良いと思う。

(西日本電信電話(株))

農水省では、スマート農業に働くICTツールみたいなものをカタログで紹介してある。あと、自治体様にヒアリングを行った際に自治体独自のカタログを作られていた。

JA様の普及活動の中に盛り込んでもらう等の活動が必要だと思う。

○「ローカル5G 簡易設置キットを活用した屋内スポーツにおける高精細・多視点の映像サービスモデル構築に向けた実証」について

(座長)

スポーツへ応用することによって主催者側にとって形のあるものになればと考えられていると思うが、そのあたりの感触はいかがでしょうか。

(KDDIエンジニアリング(株))

今回、試合の中で実際に使わせていただいた中で、主催者のVリーグ様を含め関係者の方は、新しい視点に驚いていただいた。視点と高精細な映像と遅延無く配信できる点で前向きなコメントを頂いた。さらに、バレーボールで言うとチャレンジシステムというカメラで判定するシステムがあるが、そのような可能性についてもコメントを頂いた。コメントを頂いた内容を踏まえ、課題を解決しながら、サービスに繋げていきたいと考えている。

- 「地方公共団体と連携したローカル5Gの活用による火力発電所のスマート保安の実現」について
特になし

<各省庁デジタル関連施策説明>

特になし

<各自治体デジタル関連取り組み事例説明>

- 「長崎県の取組説明」について

(九州総合通信局)

今後5G、6Gになると使用する電波の周波数帯が高くなるので電波が飛ばなくなる。新しく基地局を作らないと5G、6Gの本当の能力を発揮できなくなるので、今までよりも多くの基地局を作っていかなければならない。新しく基地局を作る場所を探す必要が出てくるので、そこが課題になってくる。基地局シェアリング会社様も九州でどんどん基地局の整備を進められている。そのような会社が新しくアンテナを立てる場所を探すのにも資するものであり、素晴らしい取組みであると思う。

デジタル田園都市国家インフラ整備計画の地域協議会でも5G整備に向けたマッチング協議を始めており、自治体が携帯事業者様と直接お話する機会も増えてきている。今回のようなデータベースがあれば、そのような協議を踏まえて携帯事業者が基地局の設置場所を探すとき等に活用でき、素晴らしいことだと思う。このようなデータベースが各県に広がっていけば良いと思う。

(長崎県)

長崎県の公有財産は、これまで紙の台帳で公開していたものをエクセルにして、ウェブサイトに掲載している。市町についてはすでに施設情報をオープンデータとしてカタログサイトに載せているので、各市町のカタログサイトへのリンクを集約する形でウェブサイトに掲載している。

7. 座長からの講評

<デジタル田園都市国家インフラ整備計画地域協議会について>

- 都道府県で70%を超えたということで、九州は77.8%~96.6%のようです。長崎県がワンストップの窓口を作るということで、90%を目指していられるのかなと思います。
- ブロードバンドサービスがユニバーサルサービスになるという話で、ユニバーサルサービスというのは、国民生活に不可欠なものであるので、国民にとって不可欠なサービスが豊富に提供されるように期待したいと思う。

<デジタル関連取り組み事例紹介について>

企業様から基調な事象の事例を紹介いただきましてありがとうございました。皆様も今後ご参考にして頂きたいと思います。

<各省庁施策説明、各自治体の取り組みについて>

長崎県の方から非常に貴重な取り組みを紹介いただきましてありがとうございます。

以上